



平成29年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 (株)アルバック
 コード番号 6728 URL <https://www.ulvac.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 広報・IR室長
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日

上場取引所 東

(氏名) 小日向 久治
 (氏名) 森村 稔生

TEL 0467-89-2033

配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (国内機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	172,373	14.3	23,187	42.1	23,462	42.6	17,904	51.6
28年6月期第3四半期	150,818	16.8	16,322	116.9	16,456	89.8	11,811	91.6

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 23,259百万円 (236.2%) 28年6月期第3四半期 6,918百万円 (43.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	363.12	
28年6月期第3四半期	239.35	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第3四半期	233,722	98,378	39.5
28年6月期	219,561	78,032	33.2

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 92,305百万円 28年6月期 72,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期				30.00	30.00
29年6月期					
29年6月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	223,500	16.1	28,500	59.5	28,500	55.1	21,500	28.8	436.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期3Q	49,355,938 株	28年6月期	49,355,938 株
期末自己株式数	29年6月期3Q	83,497 株	28年6月期	9,533 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期3Q	49,305,312 株	28年6月期3Q	49,346,483 株

(注)当社は、当期第2四半期連結会計期間より「株式給付信託(BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式(73,900株)を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めています。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	平成28年第3四半期 連結累計期間	平成29年第3四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	175,148	171,160	△2.3%
売上高	150,818	172,373	14.3%
営業利益	16,322	23,187	42.1%
経常利益	16,456	23,462	42.6%
親会社株主に帰 属する四半期純 利益	11,811	17,904	51.6%

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資や個人消費、輸出に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調が続いてまいりました。米国では、個人消費の増加や生産の持ち直しなどから景気の回復が続いてまいりました。欧州では、企業部門の一部に改善の遅れが見られるものの、景気は緩やかに回復してまいりました。中国では、各種政策効果もあり景気はこのところ持ち直しの動きが見られました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス市場においては、スマートフォン販売台数の伸びの低下は見られるものの、モバイル機器などの高機能化・薄型化に向けた動きは継続し、半導体や電子部品の需要は概ね堅調に推移しました。フラットパネルディスプレイ(FPD)製造装置の設備投資も、モバイル端末向け有機EL製造装置やテレビ向け大型液晶ディスプレイ製造装置が、引き続き活発な動きを示しております。

このような状況において、当第3四半期連結累計期間につきましては、受注高は1,711億60百万円(前年同期比39億87百万円(2.3%)減)、売上高は1,723億73百万円(同215億55百万円(14.3%)増)となりました。また、損益につきましては、営業利益は231億87百万円(同68億65百万円(42.1%)増)、経常利益は234億62百万円(同70億6百万円(42.6%)増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は179億4百万円(同60億93百万円(51.6%)増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

「真空機器事業」

(単位：百万円)

	平成28年第3四半期 連結累計期間	平成29年第3四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	149,622	149,165	△0.3%
売上高	126,105	148,904	18.1%
営業利益	13,960	21,236	52.1%

真空機器事業を品目別に見ますと次のとおりであります。

(FPD及びPV製造装置)

FPD製造装置の受注高は、中小型液晶ディスプレイ製造装置減少の影響はあるものの、有機EL製造装置を中心に高水準で推移いたしました。売上高は有機EL製造装置に加えてテレビ向け大型液晶製造装置が増加、前年同期を大幅に上回りました。

(半導体及び電子部品製造装置)

半導体関連は、メモリ向け投資の拡大に伴い、スパッタリング装置や自然酸化膜除去装置が増加、電子部品関連は、モバイル機器向け高機能デバイス製造装置などが堅調に推移し前年同期を上回る受注高、売上高となりました。

（コンポーネント）

FPD、半導体、電子部品業界や自動車関連向けを中心に受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。特に売上高は有機EL製造装置に搭載するクライオポンプが大きく寄与しました。

（一般産業用装置）

自動車部品製造用真空熱処理炉などを中心に受注、売上を計上いたしましたが、売上高は前年同期を下回りました。

その結果、真空機器事業の受注高は1,491億65百万円、受注残高は971億61百万円、売上高は1,489億4百万円となり、212億36百万円の営業利益となりました。

「真空応用事業」

（単位：百万円）

	平成28年第3四半期 連結累計期間	平成29年第3四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	25,526	21,995	△13.8%
売上高	24,713	23,468	△5.0%
営業利益	2,317	1,936	△16.4%

真空応用事業を品目別に見ますと次のとおりであります。

（材料）

主に液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲットを中心に受注、売上を計上いたしましたが、価格競争の激化の影響を受け、ともに前年同期を下回りました。

（その他）

マスクブランクス関連は、高精細、高機能ディスプレイパネルや車載及び産業用半導体需要の増加を受け概ね堅調に推移いたしました。一方、分析機器関連は、受注高、売上高とも、全般的に低調な結果となりました。

その結果、真空応用事業の受注高は219億95百万円、受注残高は45億99百万円、売上高は234億68百万円となり、19億36百万円の営業利益となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

前連結会計年度末に比べ、141億61百万円増加となりました。主な内容は、受取手形及び売掛金が98億71百万円増加したこと、現金及び預金が30億62百万円増加したこと、たな卸資産が24億85百万円増加したことなどです。

（負債）

前連結会計年度末に比べ、61億85百万円減少となりました。主な内容は、長期借入金が90億16百万円減少したこと、短期借入金が73億58百万円減少したこと、前受金が16億8百万円減少したこと、一方で、支払手形及び買掛金が109億56百万円増加したことなどです。

（純資産）

前連結会計年度末に比べ、203億46百万円増加となりました。主な内容は、利益剰余金が164億23百万円増加したこと、その他の包括利益累計額が39億12百万円増加したことなどです。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益、減価償却費、仕入債務の増加などのプラス要因に対し、売上債権の増加、たな卸資産の増加、前受金の減少などのマイナス要因により、243億64百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形及び無形固定資産の取得による支出などにより、48億97百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の減少、長期借入金の減少、配当金の支払などにより、188億56百万円の支出となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、18億16百万円増加し、466億78百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年2月13日に公表いたしました平成29年6月期通期の連結業績予想を修正することといたしました。

当該予想の詳細に関しては、本日(平成29年5月12日)公表いたしました「連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,713	48,775
受取手形及び売掛金	57,958	67,829
商品及び製品	4,645	4,475
仕掛品	16,808	18,052
原材料及び貯蔵品	8,009	9,420
繰延税金資産	4,746	5,033
その他	6,356	6,467
貸倒引当金	△621	△744
流動資産合計	143,616	159,307
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,367	32,637
機械装置及び運搬具(純額)	13,690	12,872
工具、器具及び備品(純額)	1,325	1,365
土地	8,109	8,096
リース資産(純額)	632	675
建設仮勘定	3,252	3,462
有形固定資産合計	60,374	59,107
無形固定資産		
リース資産	112	79
ソフトウェア	754	706
その他	3,051	2,789
無形固定資産合計	3,916	3,574
投資その他の資産		
投資有価証券	4,035	4,595
繰延税金資産	1,924	2,021
その他	8,075	7,171
貸倒引当金	△2,379	△2,052
投資その他の資産合計	11,655	11,734
固定資産合計	75,945	74,415
資産合計	219,561	233,722

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,303	46,259
短期借入金	39,453	32,095
リース債務	319	295
未払法人税等	2,039	2,515
前受金	13,598	11,990
繰延税金負債	11	11
賞与引当金	2,206	4,065
役員賞与引当金	368	247
製品保証引当金	1,964	2,159
受注損失引当金	558	961
その他	10,331	8,657
流動負債合計	106,150	109,252
固定負債		
長期借入金	23,237	14,221
リース債務	546	555
繰延税金負債	1,399	1,257
退職給付に係る負債	8,711	8,534
役員退職慰労引当金	319	313
役員株式給付引当金	—	56
資産除去債務	336	391
その他	831	764
固定負債合計	35,378	26,092
負債合計	141,529	135,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,873	20,873
資本剰余金	4,582	3,912
利益剰余金	50,813	67,236
自己株式	△10	△270
株主資本合計	76,258	91,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	130	492
為替換算調整勘定	△667	2,681
退職給付に係る調整累計額	△2,822	△2,619
その他の包括利益累計額合計	△3,359	554
非支配株主持分	5,133	6,074
純資産合計	78,032	98,378
負債純資産合計	219,561	233,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	150,818	172,373
売上原価	110,522	124,225
売上総利益	40,297	48,148
販売費及び一般管理費	23,975	24,960
営業利益	16,322	23,187
営業外収益		
受取利息	123	79
受取配当金	229	280
持分法による投資利益	237	125
その他	1,271	918
営業外収益合計	1,860	1,402
営業外費用		
支払利息	673	424
その他	1,052	703
営業外費用合計	1,725	1,127
経常利益	16,456	23,462
特別利益		
固定資産売却益	58	34
投資有価証券売却益	—	17
特別利益合計	58	51
特別損失		
固定資産売却損	—	417
固定資産除却損	599	378
特別損失合計	599	795
税金等調整前四半期純利益	15,915	22,719
法人税、住民税及び事業税	3,636	4,100
法人税等調整額	41	△460
法人税等合計	3,677	3,640
四半期純利益	12,238	19,079
非支配株主に帰属する四半期純利益	427	1,176
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,811	17,904

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	12,238	19,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△390	364
為替換算調整勘定	△4,942	3,611
退職給付に係る調整額	30	202
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	3
その他の包括利益合計	△5,320	4,179
四半期包括利益	6,918	23,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,880	21,816
非支配株主に係る四半期包括利益	38	1,443

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,915	22,719
減価償却費	5,365	4,816
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	112	△235
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,041	1,724
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△143	△22
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△90	△6
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	-	56
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	29	120
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	2	402
受取利息及び受取配当金	△352	△359
支払利息	673	424
固定資産売却損益 (△は益)	△58	383
売上債権の増減額 (△は増加)	△17,651	△7,751
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,737	△1,507
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,222	9,939
前受金の増減額 (△は減少)	△2,074	△2,291
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△97	9
その他	△1,196	△213
小計	7,962	28,207
利息及び配当金の受取額	354	373
利息の支払額	△675	△424
法人税等の支払額	△2,734	△3,792
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,907	24,364
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,710	△4,089
定期預金の払戻による収入	1,767	2,894
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,772	△4,103
有形及び無形固定資産の売却による収入	317	210
関係会社出資金の払込による支出	△286	-
その他	341	191
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,342	△4,897
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△16,291	△9,901
長期借入れによる収入	13,610	-
長期借入金の返済による支出	△6,824	△6,537
配当金の支払額	△491	△1,476
自己株式の取得による支出	△11,854	△260
その他	△664	△683
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,515	△18,856
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,389	1,205
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△22,339	1,816
現金及び現金同等物の期首残高	61,670	44,862
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,332	46,678

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成28年12月31日付で、連結子会社である愛発科中北真空(沈陽)有限公司の株式を追加取得し、当社の完全子会社といたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が670百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が3,912百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	126,105	24,713	150,818	—	150,818
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,390	606	1,996	△1,996	—
計	127,495	25,319	152,814	△1,996	150,818
セグメント利益	13,960	2,317	16,277	45	16,322

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	148,904	23,468	172,373	—	172,373
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,787	995	2,782	△2,782	—
計	150,692	24,464	175,155	△2,782	172,373
セグメント利益	21,236	1,936	23,172	15	23,187

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

a. 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (百万円)	前年同期比 (%)
真空機器事業	155,659	117.1
真空応用事業	23,497	94.9
合計	179,157	113.6

- (注) 1. 金額は、販売価格をもって表示しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

b. 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
真空機器事業	149,165	99.7	97,161	108.3
真空応用事業	21,995	86.2	4,599	69.7
合計	171,160	97.7	101,760	105.7

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

c. 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
真空機器事業	148,904	118.1
真空応用事業	23,468	95.0
合計	172,373	114.3

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 真空機器事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第3四半期連結累計期間	
	販売高 (百万円)	割合 (%)
FPD及びPV製造装置	81,504	54.7
半導体及び電子部品製造装置	27,343	18.4
コンポーネント	24,523	16.5
一般産業用装置	15,534	10.4
計	148,904	100.0

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 真空応用事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第3四半期連結累計期間	
	販売高 (百万円)	割合 (%)
材料	11,197	47.7
その他	12,271	52.3
計	23,468	100.0

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。